

# 京都「丹後・食の王国」構想の概要

## 1 構想の趣旨

丹後地域においては、地場産業の不振や少子高齢化の進展等、厳しい経済・社会情勢におかれています。人々を魅了する海・里・山や、豊かな自然・文化資源に育まれた良質で、豊かな「食材」にも恵まれています。

本構想は、丹後の地域資源である「食」をテーマに、地域の食材を活用した新商品開発や販売促進、また、食関連産業の誘致・集積を図るとともに、丹後あじわいの郷や丹後・知恵のものづくりパークを核として、丹後の食の魅力を発信し、観光誘客を促進させることで、丹後の食の「ブランド化」と「高付加価値化」を図り、丹後地域一帯に食関連産業が連たん立地する一大回廊を構築することを目指します。



丹後あじわいの郷

## 2 構想推進の基本方向

～ 地域の宝である「食」を活かす。消費者・ユーザー重視の視点 ～

丹後地域の魅力ある「食」を磨き、<sup>※1</sup>6次産業化等により付加価値を高め、地域外に売り込むことにより<sup>※2</sup>外貨を獲得する。

※1 「6次産業化」とは、農業や水産業などの第一次産業だけでなく、食品加工(二次産業)、流通販売(三次産業)にも事業展開するなど、経営を多角化すること。

※2 「外貨」とは、ビジネス・観光等を通じて、地域外から地域内に流入するお金のことを指す。

観光と連携し、地域内での「食」の消費を拡大する。

「京都・丹後」ブランドを活かした食関連産業の企業立地の推進等、地域内外からの投資を促進させる。

## 3 構想実現に向けた推進方策

【重点施策】

丹後地域の特色ある食材の増強

食関連ビジネスの推進

①地域外への丹後の食の売り込み促進、②食と観光との連携強化、③地域の賑わいを形成する地域内消費の促進

食関連ビジネスの創出と拡大に向けた制度的支援と食の拠点づくり

①企業誘致・起業・産業集積促進のための各種支援制度の整備、②食の拠点づくり